

2018

知の玉手箱

学生向け図書案内誌



久留米大学 御井図書館 発行

学問の世界への入り口 としての大学図書館

『知の玉手箱 2018』編集委員
久留米大学 商学部

教授 奥井 秀樹



大学には様々な施設があります。お腹が空いた時には学生食堂が、パソコンを使いたい時には情報教育センターが利用できます。大学図書館も、そうした施設の1つとして位置づけられます。

それでは、大学図書館の役割とはなんでしょうか。学生食堂や情報教育センターなどと比べて、大学図書館の役割をしっかりと理解している人は少ないのではないのでしょうか。

まず、わかりやすいものとして、大学図書館では、様々な本を無料で読むことができるということが挙げられます。読みたかった小説や趣味の本を心ゆくまで楽しむことができます。

しかし、大学図書館の役割はそれだけではありません。大学図書館は「学問の世界への入り口」という、より重要な役割も担っています。

Web検索をすれば簡単に多種多様な情報を手に入れることができる現代社会では、大学図書館を利用しなくても学問はできると思う人もいるかもしれませんが、実際はそうではありません。

なぜなら、学問の世界では、そこで取り扱う情報が信頼できるものであることを示す必要があるからです。そのためには、その情報の著者名、結論を導くプロセスの妥当性、公表の時期・形態などを調べなくてはなりません。Web検索で得られる情報には、そうした信頼性という点で不確かなものも多く含まれています。たとえ最初はWebから情報を得たとしても、それは何かの本から引用した情報であり、その信頼性を確認するためには大学図書館で引用元の本を調べる必要があるなどという場合が数多くあります。

また、そうした難しいことを考えずとも、大学図書館に足を運ぶだけでも意味があります。立ち並ぶ本棚を眺め、館内の空気を吸うだけでも学問の世界の広がりや魅力を感じることができるでしょう。それだけ大学図書館はアカデミックな雰囲気に満ちています。

この『知の玉手箱』をきっかけに、少しでも多くの方に学問の世界に触れていただければ幸いです。

CONTENTS

◇『知の玉手箱 2018』発行にあたって

文芸

P.3~

- 01◆ 何者/朝井リョウ 著
…中尾 誠(文学部学生)
- 02◆ 彼女は長い間猫に話しかけた/川崎 徹 著
…長田 悠矢(文学部学生)
- 03◆ ワンダー/R・J・パラシオ 作 / 中井 はるの 訳
…原田 鈴菜(文学部学生)
- 04◆ エミリの小さな包丁/森沢 明夫 著
…山下 朋美(文学部学生)
- 05◆ 世界地図の下書き/朝井リョウ 著
…吉田 竜平(文学部学生)
- 06◆ 春、戻る/瀬尾 まいこ 著
…宮田 青空(人間健康学部学生)
- 07◆ 海の見える街/畑野 智美 著
…大溝 裕人(人間健康学部学生)
- 08◆ また、同じ夢を見ていた/住野 よる 著
…柳野 涼介(法学部学生)
- 09◆ 切れない坂/坂本 司 著
…河内 千栄子(法学部教員)
- 10◆ 完全黙秘の女/法坂 一広 著
…河内 千栄子(法学部教員)
- 11◆ 星の王子さま/サン=テグジュペリ 著 / 三野 博司 訳
…白濱 生成(経済学部学生)

評論・エッセイ

P.9~

- 12◆ 言葉の外へ/坂本 和志 著
…御幡 翔太(文学部学生)
- 13◆ 戦争とおはぎとグリーンピース/西日本新聞社 編
…中村 優理(文学部学生)
- 14◆ 雲の上はいつも青空/ハービー・山口 著
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)
- 15◆ 科学の危機/金森 修 著
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)

社会・政治・経済・ビジネス

P.11~

- 16◆ 中国人が見たここが変だよ日本人/孫 向文 著
…楠木 隆也(文学部学生)
- 17◆ STAP細胞残された謎/佐藤 昌彦 著
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)
- 18◆ 幸せを届けるボランティア不幸を招くボランティア
/田中 優 著
…行實 鉄平(人間健康学部教員)
- 19◆ 硫黄島/R.F.ニューカム 著 / 田中 至 訳
…植木 健太(法学部学生)
- 20◆ パイトを大事にする飲食店は必ず繁盛する
/大久保 伸隆 著
…松本 一鴻(法学部学生)
- 21◆ AIの衝撃/小林 雅一 著
…溝口 郁人(法学部学生)
- 22◆ 地域再生の条件/本間 義人 著
…藤田 千恵(法学部学生)
- 23◆ 民法改正を考える/大村 敦志 著
…吉永 俊介(法学部学生)

- 24◆ タックス・ヘイブ/志賀 櫻 著
…太田 将太(法学部学生)
- 25◆ 憲法サバイバル/ちくま新書編集部 編
…鶴岡 秀人(法学部学生)
- 26◆ 日本国憲法/谷口 真由美 著
…河内 千栄子(法学部教員)
- 27◆ ドラッカー経営学/藤屋 伸二 著
…坂本 悠輔(法学部学生)
- 28◆ なぜ「あれ」は流行るのか?
/ジョーナ・バーガー 著 / 真井 佳子 訳
…森川 智貴(法学部学生)
- 29◆ 真実の瞬間/ヤン・カールソン 著 / 堤 雄二 訳
…川端 幸次朗(法学部学生)
- 30◆ よくわかる日本経済入門(増補改訂)/塚崎 公義 著
…塚崎 公義(法学部教員)

自己啓発

P.19~

- 31◆ 勝ち続ける男モウリーニョ/山中 忍 著
…岩田 大輝(人間健康学部学生)
- 32◆ 朝原宣治のだれでも足が速くなる/朝原 宣治 著
…永石 朗之(人間健康学部学生)
- 33◆ メンタルが強くなる60のルーティン/中谷 彰宏 著
…岡田 拓陸(人間健康学部学生)
- 34◆ とらわれない!/五木 寛之 著
…清水 恵士(法学部学生)
- 35◆ 「判断力」を強くする/藤沢 英治 著
…徳永 幹大(法学部学生)
- 36◆ 大学選びより100倍大切なこと/筒井 美紀 著
…富吉 満之(経済学部教員)
- 37◆ 勇気の心理学アルフレッド・アドラーが1時間でわかる本
/中野 明 著
…角田 拓己(法学部学生)

その他

P.23~

- 38◆ コンピュータネットワークの構成学
/村田 正幸、長谷川 剛 著
…宋 宇琦(文学部学生)
- 39◆ World journey/高橋 歩 編著
…金子 彩乃(文学部学生)
- 40◆ 目の見えない人は世界をどう見ているのか
/伊藤 亜紗 著
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)
- 41◆ 認知症の「真実」/栗田 勉 著
…仲 望(法学部学生)
- 42◆ ヒトの本性/川合 伸幸 著
…三代 菜々美(法学部学生)
- 43◆ 「認められない」の正体/山竹 伸二 著
…大川 恵美里(法学部学生)
- 44◆ プロ野球・二軍の謎/田口 壮 著
…今村 友哉(法学部学生)

ウェブサイトを活用して図書館の達人になろう P.27~

OPAC(蔵書検索)を使ってみよう! P.29

マイライブラリを活用しよう! P.30

❖ 他人から見たあなたは何者？

中尾 誠(文学部学生)

何者

朝井 リョウ 著
新潮社

¥1,500 (税別)

大学生5人が就職活動を通して自分自身と向き合う物語。主人公の拓人、光太郎、瑞月、理香、隆良の5人で物語は展開する。5人は就職活動中であり会社の情報交換や就活勉強会などをする仲間になっていった。時は過ぎ、光太郎の内定をきっかけに、周りにも焦りが見え始めお互いの不満をぶつけ合うようになる。そんな中、拓人が光太郎の内定先の会社の評価を調べていたところを理香に見つけれられてしまい、「観察者ぶってる」と思っていたことを告げられ、同時に裏アカウントの存在も指摘される。この時、拓人は何も言うことができなかつた。果たしてこの後どうなるのか、拓人は内定をもらうことができるのか。

この本は、人物描写が細かく自分に似た性格の人物の観点から読み進めることができ、とても感情移入しやすいようになっている。対人関係を改めたい、就活を早めに考えたいと思っている人にぜひ読んでもらいたい。

❖ 死に遭遇した男の記憶

長田 悠矢(文学部学生)

彼女は長い間猫に話しかけた

川崎 徹 著
マドラ出版

¥1,400 (税別)

この本は、父親の死に際に遭遇した青年男性の心情を描いた物語です。医師から父の余命宣告を聞いた男は「どうにかならないのか？」とは言わず、素直に医者からの宣告を受け止めました。看護師の処置が行われている時に、男は父との思い出を走馬灯のように思いかえします。そして父の名を呼びかける看護師の一言で少年時代の記憶を思い出します。その記憶の中に「オニババア」と周囲から呼ばれている女性がいました。その女性は誰とも関わらず、常に周囲の人々と衝突しており、孤独な生活をしていました。だが、ある日少年は男性と話している彼女を見かけます。しばらくその様子を見続けていると、少年は彼女がなにやら悲しい顔になっていることに気が付きます。いったい彼女に何があったのか？

現代の父の病室の話と過去のオニババアの話が交互に流れ、徐々に共通点が浮き出されてきます。家族との別れに共感することは難しい話ですが、この本を読むと家族との時間を大切にしようと思えるようになると思います。

❖ 1人の少年の成長の物語です。

原田 鈴菜(文学部学生)

ワンダー

R・J・パライオ 作
中井 はるの 訳
ほるぷ出版

¥1,500 (税別)

この物語の主人公のオーガストという人物は、遺伝子疾患という病気により顔に重度の障害を持って生まれました。本人はその顔を誰が想像するよりひどい顔だと評価していました。オーガストの顔を見ると誰もが目を逸らし、子供が見ると叫んだり逃げてしまうような顔でした。その顔に重度のコンプレックスを抱えて10歳まで学校に行かず家にこもっていました。その間は親が勉強を教えていました。ですが母親は父にこのままではだめなのではないかと提案しました。そういう親の行動や努力により初めて学校に行くことになります。しかし、その顔のせいで外の世界でいじめに遭ったり、奇妙なものを見る目で見られたりするため精神的にも大きく負担がかかります。そんな中、家族や友人などと強い信頼関係を結ぶという物語です。

この本は全世界300万部の感動作の児童書です。

私は高校の時の世界史の先生に勧められて読みました。

この機会にぜひ読んでみてください。

❖ 心温まる料理 詰まっています。

山下 朋美(文学部学生)

エミリの小さな包丁

森沢 明夫 著
KADOKAWA

¥1,600 (税別)

あることをきっかけに、面識が少ない祖父の家に住まわせてもらうことになった、エミリ。そこは、エミリが住んでいた都会とは真逆の海がみえる田舎だった。初めはぎこちない二人だったが、料理を通して次第に心の距離が縮まっていく。田舎で出会う心優しい人たちに惹かれ、エミリの心は元気を取り戻していく。また、祖父の作った優しい音色をだす風鈴は、心の癒やしだった。

そんなある日、田舎暮らしにも慣れ初め、地域の人々とも仲良くなり始めた頃に、友人である沙耶がやってくる。エミリの明かされる過去、祖父の元へ来た理由とは。

たくさんの人との出会いや関係が人を少しずつ変えていくのだな、と思いました。自然の閑散とした空気や、清らかさ、美しさ、騒がしさが、温かい言葉で描かれています。田舎の魅力がたっぷり詰まっています。読めばお腹がすいて、すぐに食べたくなるような料理にも注目です。

■ 実は立ち向かうことと同じくらい、逃げ出すことも勇気が必要ということ。

吉田 竜平(文学部学生)

世界地図の下書き

朝井 リョウ 著
集英社

¥1,400 (税別)

小学生の太輔は両親を交通事故で亡くし、「青葉おひさまの家」にやってきた。そこで出会ったのは、それぞれ心に傷を負っている一班のメンバーたちだった。施設にやってきて初めは無口だったが、一班の四人と生活するうちに心を開いていく。

だが、高校生の佐緒里が卒業と同時に施設を出てしまうことになる。そこで太輔たちは「アリス大作戦」を計画するが問題が続出する。果たして、太輔たちの計画は成功するのだろうか。そして五人の願いは届くのだろうか。

家庭環境により心に深い傷を負っている子供たちが、自分の過去やトラウマと向き合い、少しずつ成長していく姿に魅了される。

■ 家族って温かい。

宮田 青空(人間健康学部学生)

春、戻る

瀬尾 まいこ 著
集英社

¥1,200 (税別)

主人公が結婚を控えたある日、12歳も年下の「兄」と名乗る男の子がやってきた。最初はその「兄」を不審がる主人公だったが、、、主人公や周囲の人々が「兄」の登場により翻弄されながらも、個々の人生を見つめ直し、人生の一番大切なものを見つけ出す、心温まるストーリー。

この本を読み始めたときは、明らかに年下の「兄」の正体はいったい何なのかということでは頭は埋め尽くされていました。しかし、本を読み進めて行くと「兄」があまりにも周囲に溶け込み、その周囲の人々が温かく、心がほっこりするこの本の雰囲気を楽しむようになっていました。それは、明らかに「兄」の登場によるものでした。「家族」とはと問われたときに、私はきっとこの本の「兄」のことを思い出します。「家族」とは、、、この本を読み終えるとあなたの考えが変わるかもしれません。

不器用な4人の図書館役員生活

大溝 裕人(人間健康学部学生)

海の見える街

畑野 智美 著
講談社

¥1,500 (税別)

この本は、海が近くに見える図書館で新人スタッフ4人のやり取りを描いたものです。男性図書館役員の本田が、女性派遣社員の鈴木の世話係を頼まれ、通常持っているはずの司書資格を持っていない鈴木に一から仕事を教えることから話が始まります。鈴木は初めのうちは、本を手荒に扱い、司書に好ましくない服装で仕事をする事が多い本田が少し苦手でした。しかし、本田が話しかけるうちに、あることを契機に鈴木の不器用な部分を認知しました。そこで、本田は、人の不器用さを許容することができるようになっていきます。この話では、4人それぞれが動物を通して相手の不器用なところを知っていく流れになっています。本人と向き合うことでは難しかったことも、ある出来事や、あるものを通して伝えることで自分の不器用な部分と相手の不器用な部分をお互いに伝えることができる。本書を通じて、そんなコミュニケーションの1つのあり方を考えることができました。

やり直したいと思ったことありませんか？そんな人におすすめの作品

柳野 涼介(法学部学生)

また、同じ夢を見ていた

住野 よる 著
双葉社

¥1,400 (税別)

「幸せとは何か」という発表テーマが学校の授業で出される。この主人公が放課後、母が帰宅するまでの時間に、いつも出会う猫の彼女、アバズレさんと呼んでいるお姉さん、南さんと呼んでいる高校生、そして一人暮らしのおばあちゃんのいるところをめぐり、お話をします。自分より年上の人達との会話の中でいろいろな気づきに出会い、主人公が成長していくお話。

本書は、著者の住野よるさんのデビュー作であり大ヒットした「君の臓腑を食べたい」の次の作品で、どうなるかな？と思ったが正直前作を超えてます(笑)。この作品はどこにも悲しい要素がないのに涙が止まらなくなる。それに加えて、この本のタイトルでもある「また同じ夢を見ていた」という言葉を後半にかけて3人がつぶやくのですが、この意味は読むときっとわかるでしょう。そして、あなたはこの本のラストの一文をどう解釈しますか？小説を全く読まない人でも時間を忘れるくらい物語に引き込まれる作品です。

❑ クリーニング店には暖かい仲間と不可解な謎が…

河内 千栄子 (法学部教員)

切れない糸

坂木 司 著
東京創元社

¥880 (税別)

大学卒業間際のパツとしない主人公、和也が、父親の急死のために商店街のクリーニング屋を継ぐことになる。アイロン職人のシゲさん、パートのおばちゃんらに助けられてクリーニングの世界へ飛び込む。この世界、見た目より意外と奥が深い。ポケットの中の忘れ物、ボタンの緩み、しみ・材質の確認などがおそろかになると大変なことになる(たとえば口紅がドライクリーニングにまざるとどうなるか)。考えてみると、クリーニングの品物はさまざまな個人情報をも暗示している(たとえば、服の種類から家族構成、デザインや材質から職業や所得など)。ある日、不慣れな集荷作業で預かった衣類には、洗濯機で洗って当然のような品物ばかり。なぜだろう?数々の小さな謎を親友、直之や心温まる商店街の人々と一緒に解決していく。大企業のサラリーマンでなくても、このような身近な人々との仕事も悪くないと思わせてくれる。やっぱり、人の優しさっていいな!

❑ 博多弁の弁護士奮闘す!

河内 千栄子 (法学部教員)

完全黙秘の女

: 弁護士探偵物語

法坂 一広 著
宝島社

¥1,500 (税別)

著者は実際に福岡で活動している現役の弁護士。懲戒処分を受けているいわくつきの主人公は、国選弁護士として完全黙秘を貫く女性に接見。事件は博多区冷泉公園。ある男性に意識不明の障害を負わしたかどで逮捕されたようであるが…。事件の真相をめぐって、主人公と新米女性弁護士が、久留米、鳥栖のスタジアム、中州、薬院と私たちの身近な場所に登場してストーリーを展開する。もちろん主人公の博多弁も入って、この事件をリアルにしてしまう。犯人は思いもかけない人物で、本書では殺人罪等の公訴時効の撤廃などの問題点も示唆している。主人公の弁護士の連続ジョークには少々あきれられるほどだが、それが主人公の本骨頂。法廷シーンなどテレビドラマと違って、現実味がある。第一作の「弁護士探偵物語・天使の分け前」(宝島社、このミステリーがすごい大賞受賞)もぜひ手に取って楽しんでほしい。

自分の子供に読み聞かせたい一冊

白濱 生成 (経済学部学生)

星の王子さま

サン＝テグジュペリ 著
三野 博司 訳
論創社

¥1,000 (税別)

このお話は、小惑星B612からやってきた星の王子さま (少年) と地球に住む「僕」のお話し。サハラ砂漠に不時着した僕。ほんとうに心を許して話し合える友人もなく、孤独に生きてきた僕。突然、羊の絵を描いてほしいと少年が現れました。しょうがなく絵を描くと、不満そうな少年。エンジンの修理を始めたかった僕は、いい加減に箱を描いて箱の中に羊がいるよと言いました。すると少年は、こんなのがほしかったのだと答えました。これが僕と少年の出会い。少年が地球にやってくるまでの話とはとても人ごとと思えず、この地球でも同じような大人ばかりがいて、そのたびに僕は反論するのだけど、少年と話すにつれ、いままで生きてきて何も感じなかった疑問がなんでそうなったのか？と疑問をもつようになり、少年と考えていく物語。

この本は、「君の隣臓をたべたい」の作中に登場した本です。再び読むと小学生の時に感じた印象と別の印象を受けました。もし僕が親となって子供が本を読み聞かせてほしいと願うなら、真っ先にこの本を読み聞かせたいと思います。興味ある方はぜひ読んでみてください。



文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

自己啓発

その他

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

小説の原点がここにある

御幡 翔太(文学部学生)

言葉の外へ

保坂 和志 著
河出書房新社
¥750 (税別)

私たちは日々、様々な言動、行動を駆使して人に対し自分を表現している。自分の主張の表現として言葉、表情、行動など伝え方は多様であり、多くの場面において私たちの表現というものを支えている。では、文字の世界ではどうだろうか。文字の世界でも新聞、俳句、本など様々な表現方法がある。しかし、この本の作者保坂和志の頃は小説という表現方法が確立されていなかった。そこから彼は、型の整っていない小説の世界に飛び込み、小説で自分を表現しようと試みる。この本は、作者である保坂和志が小説について1から考え、自分の中の小説という世界を作り上げていく内容になっている。当時、「言葉がなければ伝えることができない」や「言葉がなければ残すことができない」と指摘もあった中、新たな表現方法を求め、小説という新境地を切り開いていった。逆境にも負けず作り上げた小説の原点を逃すな。

～エッセーから見る女性たちの戦争～

中村 優理(文学部学生)

戦争とおはぎとグリーンピース

：婦人の新聞投稿欄「紅皿」集

西日本新聞社 編
西日本新聞社
¥1,400 (税別)

敗戦から9年後の1954年、西日本新聞社は女性投稿欄「紅皿」を開設し、女性読者の戦時中の経験談を載せていた。この本は、そこに寄せられたエッセーからつくられている。「おはぎ」と「グリーンピース」という興味を引くタイトルも、そこに投稿されたエッセーの一つである。

投稿の一つ一つは、テレビや映画には無い、人々の真実の声包み隠さず綴られている。そのため、72年前の戦争下での暮らしを知る上で、大切な情報源になると言える。

しかし内容は、当時の生活の中で蘇ってくる戦争への恐怖を綴ったものだけでなく、日々の幸せやその生活背景が見えてくるような、ほっこりする話まで幅広くある。そのため、今と変わらない感覚を持った女性達の心情を、自分と照らし合わせながら読むことができる。是非、当時を生きた等身大の女性達の心の声を聞いてもらいたい。

写真が好き、カメラが好き、エッセイが好き

辻本 尚弥(人間健康学部教員)

雲の上はいつも青空

: Hope is always in your hand

ハービー・山口 著
玄光社

¥2,300 (税別)

本書は、写真家ハービー・山口さんがARTISAN&ARTISTのWebサイトで連載していたエッセイをまとめたものである。私は人を写すポートレート写真はあまり好きではない。しかしWebサイトでの連載当時から欠かさず読んでいた。写っている人々に注ぐ温かい眼差しが感じられる写真と、本当に人が好きなのだなとわかるエッセイに惹かれた。本書には、写真撮影の舞台裏だけではなく未発表の作品や暗室、自身愛用のカメラ、レンズ、撮影テクニックなども紹介されている。カメラに関する技術的な話にさえもハービー・山口さんの優しい人柄が感じられる。写真が好き、カメラが好き、エッセイが好きの人にとってはおススメの一冊です。写真をじっくりと見て、エッセイを読み終えると、少しほっこりした気分になれます。読む人の心をじんわりと温めてくれる良書です。是非本書を手に取り、ハービー・山口さんの世界に浸ってください。

科学の危機を回避するには

辻本 尚弥(人間健康学部教員)

科学の危機

金森 修 著
集英社

¥760 (税別)

本書は、危機的状況におかれている科学に対し疑問を呈することで、暴走に歯止めをかけることを期待し書かれている。著者は認識論の専門家として科学史・思想史の視点から科学を批判している。第3章ではフリッツ・ハーバーを取り上げ、いわゆる「科学」の世界にどっぷりと浸かった人の考えや生き方が、いかに「一般人の感覚」と乖離してしまっているかを記している。また第4章では、科学批判において重要な役割を果たした唐木、廣重、中山、宇井、高木、梅林、柴谷の各氏の多様な視点による科学批判を紹介している。科学批判学の構築は未だ緒に就いたばかりの感があり、十分な認知もされていない。そんな中で著者は、科学の危機を回避するためには、科学者も一般人もともに実存者としての「私」を常に意識することが重要と指摘している。少し難しい本ですが、是非本書を手に取り、「私にとっての科学」を考えるきっかけとしてください。

いろいろと癖が強い

楠木 隆也(文学部学生)

中国人が見たここが変だよ日本人

孫 向文 著
青林堂

¥1,200 (税別)

自分たちでは気づかないことを中国人である著者が日本に来て疑問に思ったことを語っている。憲法9条の危うさや、マスコミの偏向報道など、普通日本人が考えないことを、外国人である自分の意見を交えながら、文章と漫画で分かりやすく表現している。日本人は自虐的な民族であり、根も葉もないことで濡れ衣を着せられたままおとなしく黙っているようだ。そして一部のメディアがこうした現象を右傾化などと騒ぎ、ネット上ではネトウヨなどと揶揄されているがそれは自然な状態になっただけだと、中国人である著者がネトウヨを認めたところは非常に面白い。

やはり、外国人から見ても、SEALDsはおかしく見え、日本人はあまりにも左翼がかっていると感じるようだ。

この本は、少しでも、政治に関心のある人にもおすすめできる。いろいろな方向から物事を見て考えてほしい。

STAP細胞の騒動とは

辻本 尚弥(人間健康学部教員)

STAP細胞残された謎

佐藤 貴彦 著
パレード

¥1,300 (税別)

本書は、すでに過去の問題と思われるSTAP細胞騒動について書かれています。専門的な記述もあり理解しながら読み進めるのに少し工夫(私は図を描きながら読みました)がいります。しかし、STAP細胞騒動の何が問題だったのかを知るための入門書としてよい本です。結局「騒動」にしてしまったのは誰なのかがおぼろげながらわかると思います。綺麗ごとでない「科学」を考えるきっかけとしてください。書き手の立場が異なるSTAP細胞騒動に関する以下の本も手にとって、本書と読み比べてみてください。

- 1) STAP細胞 事件の真相(佐藤貴彦)
- 2) 捏造の科学者(須田桃子)
- 3) STAP細胞はなぜ潰されたのか(渋谷一郎)
- 4) STAP細胞に群がった悪いヤツら(小畑峰太郎)
- 5) あの日(小保方晴子)

善意を届けるために！

行實 鉄平(人間健康学部教員)

幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア

田中 優 著
河出書房新社
¥640 (税別)

最近では、震災・環境・福祉・介護・医療・教育など様々なドメインでボランティアが行われるようになりました。ボランティアとは、本来「自発的にする」という意味を持った言葉です。しかし、実際は、「タダ」でという意味合いで使われることも多いです。また、学校の授業で行われるボランティアや、交通費・礼金が支払われるボランティアも、我々は同様にボランティアと表現していないでしょうか。さらに、「小さな親切、大きなお世話」といった言葉の様に、相手のためになっていない、自分ありきのボランティアも意外と多いと思いませんか。本書は、ボランティアがそんな不幸を招く活動にならないための処方箋を提示するとともに、ボランティアによって自らの人生を豊かにするコツを説いてくれています。是非、本書を手に取り、ボランティアが自分または相手(社会)にとって幸せな活動になるためには何が必要なのか、探っていただければと思います。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

忘れてはいけない真実

植木 健太(法学部学生)

硫黄島

：太平洋戦争死闘記(新装改訂版)

R.F.ニューカム 著/田中至 訳
光人社
¥762 (税別)

昭和二十年二月、東京の世田谷区にも満たない小さな島ですさまじい戦いがあった。アメリカ側の公式記録をもとに、この戦いに関わった米軍司令官、参謀などの生存者に直接インタビューをして事実を調べ上げまとめたのが本書である。考えられないような極限状態におかれた人間の悲しいエピソードやその戦いの全てが細かく書かれている。日本側の資料もある。AP通信記者でニュースを手がけた斎藤博文氏が、防衛庁戦史を英訳し、さらに寸暇をさいて日本各地を旅し、二年かけて生き残った数少ない生存者から取材した。この作品は決して米軍が勝利したことを讃えるものでもない、また戦争の否定を訴えてもいない。極限の戦いをすみずみまで描写し、記録したものである。戦争の恐ろしさを後世に伝える身として読んでおきたい作品である。

自己啓発

その他

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

■ 本物の成功が求めるもの

松本 一鴻 (法学部学生)

バイトを大事にする飲食店は 必ず繁盛する:リピーター獲得論

大久保 伸隆 著
幻冬舎

¥800 (税別)

飲食業の採用が厳しくなっている現在、多くの企業は素早く直接的な利益のみを求めています。その中で宮崎県の素材にこだわった郷土料理が売りの居酒屋「塚田農場」は、学生アルバイトこそが企業の売上げの多くを担っていると考えています。学生アルバイトを中心にキャリア教育を重点に置いた研修プログラム「ツカラボ」を行なった結果、売上げはみるみるうちに上がっていくのです。

「塚田農場」の教育方針をまとめると、「アルバイトの満足度を上げること」。ただスパルタ教育をするだけなら、たかが「アルバイトなのに」と言って成長どころか辞める原因になりかねません。逆に労働量を大幅に減らし、賃金を上げるだけではアルバイトの立場そのものが怪しくなってしまう。

不況により、経費削減のため多くの企業が冷酷な判断を下していくなか、「塚田農場はいかにして売上げを伸ばしたか」がこの本の見どころです。

■ コンピューター、AI、ロボットによる侵略!?

溝口 郁人 (法学部学生)

AIの衝撃

:人工知能は人類の敵か

小林 雅一 著
講談社

¥800 (税別)

AIの最大の特徴は、人間の脳が持つ「何かを学んで成長する」強みとコンピューターの「大規模な計算や単調な繰り返し作業ができる」強みを組合わせたところだ。この二つの強みの組合わせにより、これまで想像もつかなかったような知的製品を作ることができ、私達の暮らしや社会の利便性を飛躍的に高めると同時に、既存の産業各界のビジネス・モデルに計り知れない衝撃をもたらすことになるだろう。

しかし、危惧すべき点がいくつかある。その一つは、予測不能なAIの進化である。「自ら学んで進化するAI」は、それを作り出した人間が意図したものとは全く違う方向へと発展してしまう危険性を秘めている。また、AIが人間の雇用を奪うという予測もある。

人類に途方もなく豊かで便利な暮らしを齎してくれるかもしれないAI。しかし、扱い方を誤れば、人類を破滅に導くかもしれないAI。この二面性を持つAIへの理解を深め、どう向き合っていくかを考えさせられる一冊。

真の地域再生とは

藤田 千恵(法学部学生)

地域再生の条件

本間 義人 著
岩波書店

¥740 (税別)

みなさんは、今住んでいる地域に対してどのような思いを持っているだろうか。大学生になり、実家を離れて新しい土地での生活を送っている人も少なくはないだろう。

現在の日本は、少子高齢化や過疎化による地域の衰退が多くみられ、「地域再生」や「地域活性化」などといった言葉が頻繁に使われるようになった。仮に、今自分たちが住んでいる地域で大きな災害が起きたとしたらどうだろう。私たちにできることは何だろうか。

本書では、全国各地での地域の活性化や再生に向けた取り組みが紹介されている。しかし、これらの取り組みがすべて上手くいっているわけではない。本書の題名にもあるように、地域再生には条件がある。私は本書を読み進めていくうちにこの「地域再生の条件」について知り、多くのことを考えさせられ、地域に対する見方や考えが大きく変わった。ぜひみなさんにも本書を手にとってもらい、地域を活性化させるために何ができるか考えてほしい。

民法改正がどのようなものか考察する。

吉永 俊介(法学部学生)

民法改正を考える

大村 敦志 著
岩波書店

¥720 (税別)

今日の日本では民法が120年ぶりに抜本的に改正されます。本書は2011年に発行された本で、私自身2011年は小学6年生でした。そのときは民法改正についてなどまったく興味がなく、知ろうともしませんでした。しかし、今法学部の学生になり、法を学ぶうえで必要な知識だと思い本書を手に取りました。本書は、なぜ民法が改正される必要があったのか、どのような手続きで民法が改正されるのか、またヨーロッパや東アジアなどの諸外国の民法改正の歴史、2011年のときの動向を紹介したうえで、社会の構成原理としての民法典を根源的に考察しています。本書では丁寧に単語についても解説がしており、学部学科関係なく読むことができると思います。今の若者は民法などに関心があるとは言い難いと思います。また、興味がある人もいるかもしれませんが民法には硬いイメージがありなかなか手を伸ばしにくいところがあります。しかし、これをきっかけにぜひ読んでほしいと思います。

脱税が起こる背景には

太田 将太(法学部学生)

タックス・ヘイブン

:逃げていく税金

志賀 櫻 著
岩波書店

¥760(税別)

この世界には、「タックス・ヘイブン」と呼ばれるものが存在する。「タックス・ヘイブン」、それは、租税回避を行うことである。いわゆる脱税といわれているものだ。

「タックス・ヘイブン」は、意図的に税金を優遇(税金がない、あるいはほとんどない)している国や地域のことを指している。では、なぜそのようなものが存在するのか?それは、税として望ましくない負担から免れたいという人間の本質的な欲求から生じたものであるからだ。

「パナマ文書」という言葉を聞いたことがある人は多いと思う。実は、この「パナマ文書」は租税回避行為に関する内部機密文書であり、これが2016年に大きく流出したのである。これには、日本企業名や日本人の名前も記載されていた。これが明らかになった背景に、この「タックス・ヘイブン」が大きく関わっているので、それを知るためには最適の本である。

「憲法・戦争・天皇」をめぐる四つの対談

鶴岡 秀人(法学部学生)

憲法サバイバル

:「憲法・戦争・天皇」をめぐる四つの対談

ちくま新書編集部 編
筑摩書房

¥780(税別)

本書では、「憲法」の様々な視点から見た四つの対談が収録されています。

第1章では、歴史学者の加藤さんと憲法学者の長谷部さんによる、近代史における憲法に関する対談です。ここでは、歴史学者と憲法学者のそれぞれの違った意見や、重なる部分があり、憲法の新たな一面が見えてきます。

第2章では、護憲派という共通のイメージの上野さんと佐高さんが戦後の憲法の役割について話していたり、最近耳にする集団的自衛権についても触れていたり、身近な離婚やDVについても話されていて幅広い内容となっています。

第3章には、元陸上幕僚長の富澤さんと紛争解決請負人の伊勢崎さんが、これからの戦争と平和について話しており、互いに戦争や紛争に関わっているので、他の方々とは違った憲法の見方が出てきます。

最後の章では天皇について映画監督の森さんと政治思想史が専門の白井さんが対談しています。ここでは、一般の人々の視点から見る天皇について話しています。

憲法は大阪のおばちゃんで甦る！

河内 千栄子(法学部教員)

日本国憲法

:大阪おばちゃん語訳

谷口 真由美 著

文藝春秋

¥1,100 (税別)

「違憲判決」「立憲主義」「護憲」「改憲」「皇室典範」などの言葉を、最近、見聞きしませんか。何かとのんびりできない時代となった昨今、憲法の重要性はわかるけどチョット難しそうと思うあなたには、この本が超おススメ。何しろ副題にあるように大阪のおばちゃんがユーモア交えて軽やかに語る。例えば「戦争」は棄てましてん(9条)、「人権」ってええもんみたいや(11条)、「憲法」って誰のもの？(99条)という目次が並ぶ。それぞれに該当する条文に続き、おばちゃん語訳が続く。さらに「ここがポイントやで」では、井戸端会議的に詳しいおしゃべりが続く。私が驚いたのは、衆議院の任期が全うされたのは戦後1回だけという話。著者は某大学で1000科目中、ベスト・ティーチャーに選ばれた先生。間違いなく、あなたは憲法に詳しくなって自慢できるようになり、気づかぬうちに大阪弁もうまくなる。

ドラッカーの理論を応用し成長する。

坂本 悠輔(商学部学生)

ドラッカー経営学

藤屋 伸二 著

ナツメ社

¥1,480 (税別)

この本はドラッカー理論をなるべく専門用語を使用せずに誰もが読みやすい本となっています。第一部では自己実現をテーマにしており、なりたい自分になるためには何をしたらいいのかということが書いてあり、興味を持ちやすい内容となっています。

第一部では、自己実現を達成するために必要なことや、働く意味について書いてあり、自己分析を行い自分の強みを生かし伸ばしていくことが大切だと筆者は述べています。

第二部では、会社経営に必要なことが書いてあります。経営について知ることは働く中で必要なことだと思います。経営の知識があれば、経営者の言っている意味が分かり働き方が変わらと思うので読んでほしいと思います。

第三部では、経営環境について書いてあり、これからの日本やITによる社会の変化に触れ、少子高齢化による雇用の変化や、通販によって中小企業も大企業と競争する必要性が出てきたという現代の問題も書いてあるからおすすめです。

❑ 強力な「伝染」はこう作る！

森川 智貴(商学部学生)

なぜ「あれ」は流行るのか？

：強力に「伝染」するクチコミはこう作る！

ジョー・バーガー 著/貫井 佳子 訳
日本経済新聞出版社

¥1,800(税別)

商品などのコンテンツを流行らせるには、広告よりもクチコミが効果的である。クチコミはその情報を知らせるのにふさわしい相手を選んで話すのが普通だからだ。

筆者はクチコミのネタになり、流行する商品やアイデアの背景には共通する6つの原則があると説いている。ソーシャル・カレンシー(Social Currency)、トリガー(Trigger)、感情(Emotion)、人の目に触れる(Public)、実用的な価値(Practical Value)、物語(Story)の6つである。本書では以上の6つが流行の原則として成立する理由を研究による裏付けとともに素人でも読みやすいように書かれている。

どのような仕事をしていても、自分たちの商品などは広めたいはずである。本書を読むことで、どうすれば商品などのコンテンツが広まりやすくなるかが分かるようになるだろう。

❑ マーケティングの入門編

川端 幸次朗(商学部学生)

真実の瞬間

：SAS(スカンジナビア航空)のサービス戦略はなぜ成功したか

ヤン・カールソン 著/堤 猶二 訳
ダイヤモンド社

¥1,262(税別)

この本は、航空会社では従業員の最初の15秒の接客の態度や姿勢が会社の印象を決める、その15秒を「真実の瞬間」と表現しているのである。カールソンが社長に就く前には航空機やメンテナンス施設などを充実させることに重点を置いていたが、顧客に航空会社の感想を求めたならば施設のクオリティなどよりも接客の態度やサービスの質について意見を書く人が多いと考え、真実の瞬間が大切だという結果にたどり着いた。このことから、カールソンは命令して規則で縛ることや方針を固めるのではなく、可能性を広げるために従業員全員に発言する力を与えアイデアを創出する権限を持たせることで、各従業員に責任を感じ、各々で状況判断してサービスに取り組んでもらうことで、組織に柔軟性を生み出すことに成功した。マーケティングに関する戦略等を実業家が記したもので読みやすく、マーケティングについて学びたいと思う人は読んでおいて損はないだろう。

日本経済、まるわかり！

塚崎 公義 (商学部教員)

よくわかる日本経済入門 (増補改訂)

塚崎 公義 著
朝日新聞出版
¥820 (税別)

日本経済の事は、様々なニュースなどで知っているつもりでも、全体像を知っている人は少ないものです。それは、日々のニュースが「日本経済の全体像を理解している人のための追加的な情報」だからです。

そこで、拙著の御紹介で恐縮ですが、経済ニュースを理解するために必要な経済の常識を幅広くカバーした本書を早いうちに一読しておく事をお薦めします。経済の事を知らない人が読んでも理解しやすいように、できるだけわかりやすく書いたつもりですので、とにかく一度、手に取ってみてください。

日本経済について基本的なことを理解しておくことは、就職活動に際しても重要です。皆さんの多くは企業に就職することになるのですから、日本経済がどのように動いているのかを知り、経済のニュースを読んで理解しておく必要があるのです。就職するためばかりではなく、就職してからも日本経済の知識は役に立つ事が多いはずで、是非一読を。



文芸

評論・エッセイ

社会政治
経済・ビジネス

自己啓発

その他

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

❑ スペシャルワン、成功の理由

岩田 大輝 (人間健康学部学生)

勝ち続ける男モウリーニョ

:スペシャルワン、成功の理由

山中 忍 著
カンゼン

¥1,600 (税別)

サッカーのリーグで一番厳しいといわれるプレミアリーグで結果を残し続け、世界最高の監督といわれる、ジョゼ・モウリーニョ。彼は様々な発言や強気な姿勢で世間を騒がせますが、それもチームを一つにするための策だった。一つのクラブチームを常勝軍団へと変えるジョゼ・モウリーニョのチーム改革や選手との関係など、サッカー以外の競技でも活用できることが書いてある。自分の競技でうまくいかないことや、チームメイトとうまくいかないときなど、ジョゼ・モウリーニョの一つ一つの言葉を読み自分を見つめ直せるような本である。競技者だけでなく、指導者にも読んでほしい一冊である。また、一人の成功者の話として、スポーツをしていない人でも成功するために、ジョゼ・モウリーニョが行った行動は参考になると思う。サッカーに興味がない人でも、一度は読んでほしい一冊である。

❑ 誰でも足が速くなる！

永石 朗之 (人間健康学部学生)

朝原宣治のだれでも足が速くなる

朝原 宣治 著
学習研究社

¥1,200 (税別)

「足が速くなりたい」これは誰もが一度は思ったことがあるはずです。特に運動会のかけっこは、友達や親に自分の活躍した姿を見せる最大のチャンスです。しかし前日や当日に足を速くしようと思ってもそれは難しいです。ですがこの本を読めば、自分のかけっこに対する考え方が大きく変わり、たった一か月で足が速くなると私は感じました。

かけっこは素質ではありません。生まれ持った素質で走るものでもなく、その素質よりも大事なことがあります。それは「どうすれば速く走れるのかをよく考え、頭を柔軟にして、創意工夫をこらし、人のアドバイスに耳を傾け、自分をよく知り、受け入れ、問題を自分で解決する姿勢をもって、決して諦めず、自分を信じること。」これが大事なのです。走る事とは、速く楽しく、そして美しくという思いを持って走るもので、これは走るスポーツの基本です。かけっこはただ走るだけの作業ではなく、一つの物語なのです。

テンションが下がったときに！

岡田 拓陸 (人間健康学部学生)

メンタルが強くなる 60のルーティン

中谷 彰宏 著

PHP研究所

¥1,200 (税別)

この本にはメンタルが強くなるための60の方法が書かれている。例えば、会社などで上司に怒られて精神的に病んでいるときにこの本を読めば、それを乗り越えることができる方法であったり、対処の仕方であったりを書いてある。その他にも、普段の人間関係においての対処の方法や自分自身に対する見直し方が書かれている。この本を読み、一番印象が強かったルーティンは「なんとなく、始めよう」というものである。このルーティンには考える前に行動しろという意味も込められており、思い立ったらすぐに実行するということである。私自身これまで、考えて、考えていざ実行すると間に合わないことや、後悔をしてしまうことが多々あった。しかしこの考え方はこれまでやってきたことを無駄にすることなくすぐに実行することによって、今までの悩みを無くすことのできる考え方だと思った。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

日本人としての生き方

清水 恵士 (法学部学生)

とらわれない

五木 寛之 著

新潮社

¥720 (税別)

とらわれない。私はこの本の表紙を見て、人の目を気にしてしまう、他の人と合わせる、流行に乗る、無難に生きるというあまり自分というものを表現しない、一般的な日本人の良いところでもあり悪いところでもある性格を変えるヒントになると思い、手に取った。

この著者、五木寛之さんの人生経験をもとに日本人として生きる上で大切なことが書かれている。例えば、「気の合う人とは距離をおいて接する」や「出る杭は打たれるが出ない杭は腐る」というような普通の考えとは逆の発想がされており、日本人の性格を全否定するのではなく、「とらわれない」ことでもっと伸ばせると書かれている。

外国人は日本人と違って、自分を表現することが上手く世界のトップに立つ人間も多い。最近、私はこういう人間だ、とアピールできる、そんな人間にならなければいけないと言われる。しかし、「謙虚」や「誠実」など日本人としての心も忘れてはいけない。

自己啓発

その他

ウェブサイトを
活用して
図書館の達人になろう

❖ 「あの時、こうしておけば・・・」と悔やむのはなぜか！？

徳永 幹大(法学部学生)

「判断力」を強くする

: 正しく判断するための14の指針

藤沢 晃治 著
講談社

¥800 (税別)

私たちは何かをするとき、常に判断を迫られます。そして判断ミスをするときの原因は16種類もあります。しかし、判断というものは一体何なんだろうか？正しい判断をするためのこの14の指針さえ守ることができるのなら、きっと判断ミスをすることはないでしょう。14の中から1つだけ例を挙げてみる。その1つとは、遠い過去の判断ミスを気にしないことである。「後ろは振り返るな、前だけを見る」という言葉をよく聞かすが、それは正解でもあり不正解なのである。過去の判断は、正解、不正解など評価することはできませんが、過去の間違った判断から将来への教訓を導き出すのは必ずしも簡単なことではありません。しかし、前回の失敗を次に生かせるものと生かせないものがあります。そこで、生かせるか生かせないかをまた自分で判断しなければなりません。このように人生とは判断の連続なのである。ぜひこの本を読んで悔いのない人生を過ごしてみませんか？

❖ 目からウロコ。高校までと大学の学びはココが違う

富吉 満之(経済学部教員)

大学選びより100倍大切なこと

筒井 美紀 著
ジャパンマシニスト社

¥1,200 (税別)

大学生になって「どうしたらいいか分かんない」状態になったこと、ありませんか？本書は大学1年生に特にお奨めの本です。また、みなさんの中には、福大や西南あるいは国公立大学に不合格となり、仕方なく久留米に来た人もいるでしょう。そんな「ガッカリして久留米に来た」学生さんにもお奨めです。なぜかと言うと、卒業後に大事になってくるのは、「どの大学に行ったか」ではなく、「大学生活をどう過ごしたか」だからです。もちろん前者を否定はしません。しかし、せっかく東大や京大に入学してもドロップアウトしたり、自殺したりする人もいます。では、大学を選ぶことよりも100倍大切なこととは何なのでしょう？本書の目次を読めば、ひと言でその答えが書いてあります。経済学部生なら、2年生の前半にその時はやってきます。モヤモヤしている方、「もっと充実した大学生活を送りたい！」と思っている方、ぜひ本書を手にとって下さい。

目標や価値観を見つけるあなたに

角田 拓己(商学部学生)

勇気の心理学アルフレッド・アドラー が1時間でわかる本:超図解

中野 明 著
学研パブリッシング
¥1,200 (税別)

今回私がこの本を読む中で、アルフレッド・アドラーという人物の考え方や思考にとても感動しました。そもそもアルフレッド・アドラーとはどんな人物かという、19世紀が生んだ心理学の最後の巨人といわれた人である。そんなアドラーの心理学とは「劣等感」「ライフスタイル」「共同体感覚」「3つの課題」「一歩踏み出す勇氣」この5つのキーワードをもとに知ることができます。その中でも私が注目したのはアドラー心理学のカギともいわれている「劣等感」です。人間であるということは劣等感を持つことであるとアドラーの言うように、社会の中でその劣等感とどう向き合っていくのが大切だと感じました。そしてこの点から彼の心理学はタイトルの示す勇気の心理学であると思いました。最後にこの本は、アドラーの主張が簡潔にまとめてあり、自身の目標や価値観を考えたい、何か悩みがあるときなど自分の思想を整えたい人などにオススメです。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

自己啓発

その他

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう



❖ 普遍的な技術を現在魅力あると考えられている通信技術の通信技術

宋 宇琦(文学部学生)

コンピュータネットワークの 構成学

村田 正幸・長谷川 剛 著
共立出版

¥3,000 (税別)

この本はネットワークの技術の解説書である。TCP/IP参照モデルとOSI参照モデルからLAN構造まで、典型的なプロトコルの振る舞いを基本から解説しているもので、情報ネットワークにおける普遍的な技術や、様々な対立的な概念について比較説明を行っている指南書とも言える。尚、ネットワークの歴史についても述べられている。ネットワークの階層構造を下位層からではなく、上位層から説明していることがその特徴となる。

この本が、取り上げるプロトコルは、HTTP、TCP、IP、PPP、イーサネット、といったものである。いずれの項でも最初にそのプロトコルに関連した一般的な通信のしくみを述べた上で、具体的なプロトコルの説明に進むという構成となっているため、通信の本質的なしくみを理解するのに役立ち、そのみならず図表は工夫されており、理解を助けてくれる。

また、フロー制御、ふくそう制御、誤り検出などの基本となる要素技術の解説も含んでいる。

この本は正にネットワークアーキテクトを目指す人のためのコンピュータネットワークにおける普遍的な技術とは何かを明らかにしてくれる入門書である。

❖ あなたの知らない世界がここにある

金子 彩乃(文学部学生)

World journey :The guide of a journey with love & free

高橋 歩 編著
A-Works

¥1,400 (税別)

この本は、旅を愛する人が旅を愛する全ての人に向けて書いた本です。旅で出会った人や風景、出発前の準備、旅に必要なお金、旅先での緊急事態の対処法などといった様々なことについて、旅をした人たちのリアルな体験談が書かれています。堅苦しい文は無く、旅をした人たちの出会いや感じたことがその人の言葉で直球に書かれているため、とても読みやすいように思います。旅に興味がある、多様な価値観や考え方に触れたいといった人に特にお勧めしたい一冊です。1ページ1ページに自分の知らない世界との出会いがあり、自分の価値観や考え方が変わるきっかけになると思います。また、実際に旅をした人の体験談や旅をするにあたって必要な情報が書かれているので、これから旅をしようと思っている人にとってもためになる一冊です。長期休暇の過ごし方の一つに旅を考えてみてはいかがでしょうか？ぜひ一度手に取って読んでみて下さい。

❖ 彼らが見ている世界

辻本 尚弥(人間健康学部教員)

目の見えない人は世界を どう見ているのか

伊藤 亜紗 著
光文社
¥760 (税別)

本書は、目の見えない人がどんなふうに世界を認識しているかについて理解することを目的に書かれている。「空間」、「感覚」、「運動」、「言葉」、「ユーモア」の5つのキーワードをそれぞれひとつの章としてまとめている。著者の専門は美学と現代アートである。身体性が重要な意味を持つ美学と学生の頃に学んだ生物学を武器に、「私の生物学」として本書を書いたと著者は記している。視覚障害者へのインタビューや共同研究をもとに、「彼らが見ている世界」をなんとかして「見よう」としている。生きて行くための情報の8~9割を視覚から得ている人にとって、生まれつき目の見えない人が見ている世界を想像するのは容易ではない。著者はその限界を感じつつも、なんとかそれを明らかにしようとしている。本書を読むと、「見えている世界」のみが世界ではないと気づきます。平易な文章でとても読みやすい良書です。是非読んでください。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

❖ 認知症について正しい知識を身につけよう

仲 望(法学部学生)

認知症の「真実」

東田 勉 著
講談社
¥800 (税別)

近年増え続けているとされている「認知症」高齢者の数。

あなたは「認知症」がどういうもので、病院や政府、そして社会が認知症高齢者とその家族に対してどういった治療や政策、対応を行っているかご存知ですか？

実際、認知症の真実を知らない人は多く、そのために「認知症になったら何もかも分からなくなるから、あきらめるしかない。」といった悲観論や「認知症を治す薬はもうある。これからは、認知症を予防する薬も開発される。」といった楽観論が入り混じっているのが現状です。

一口に「認知症」と言っても、認知症とは「アルツハイマー型認知症」や「レビー小体型認知症」のように、病型によって全く異なります。病型を見分けられない医者に出会うと、薬物の投与や誤った治療法によって患者やその家族はひどい目に遭ってしまいます。そんなひどい目に遭わないために、そして認知症の真実を知り、正しい知識を身につけるためにもぜひ読んでほしい1冊です。

自己啓発

その他

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

❖ 人の本性をのぞいてみませんか？

三代 菜々美 (法学部学生)

ヒトの本性

:なぜ殺し、なぜ助け合うのか

川合 伸幸 著
講談社

¥760 (税別)

この本は様々な研究結果から考察して、「なぜ人を殺すのか」という結論にたどり着くまでを記したものとなっています。人間の心理というものは、遺伝よりもその人が置かれている環境に大いに影響を受け、最終的には人格までもが変えられてしまうものなのだが、この本を読めば分かります。

適法でないことも、状況によっては人間の心理を変え、適法化してしまうという事実があります。例えば、「制御不能となった列車の先は線路が2つに分かれていて、一方には1人、もう一方には5人の人が身動きを取れずにいるとき、あなたはどちらの方の線路に進むことを選びますか？」といった話です。結果はぜひ本を読んでその理由も一緒に確認して欲しいと思います。

このように人間の心理を追究した話がまだまだたくさんあるので、心理について興味のない方でもこの本を読んでも新たな発見があるかもしれませんよ！

❖ 人の心は認められることによって満たされる

大川 恵美里 (法学部学生)

「認められたい」の正体

:承認不安の時代

山竹 伸二 著
講談社

¥720 (税別)

人はなぜ間違いを犯してしまうのか？著者の答えはこう書いてあります。

社会の一般常識から逸脱した行動をとる人。本人以外の人がどうしてそのような事をしてしまったのかは十分に理解することはできません。なぜ理解することができないのか、著者は、それは自分の心の中にそのような欲望がないから、と言及しています。自分は満たされているから、わざわざ他の人を苦しめる必要性がない、ということです。ですが、満たされていない人はどうでしょう。満たされていない部分は人によって違い、その考えは満たされている人にとっては理解しがたいものです。著者は、「認められたい」が故に間違いを犯す、「認められたい」が故に自分を犠牲にする、と述べています。家族から、友人から、恋人から、不特定多数の人から承認されたいがために、間違っただ道へ進んでしまう。この本では、そんな人の心に迫っていくものになっています。

❖ 這い上がるかクビか。

今村 友哉 (法学部学生)

プロ野球・二軍の謎

田口 社 著
幻冬舎

¥800 (税別)

まず初めにプロ野球の二軍と聞いたらどういうことを想像しますか？一軍とは違い華やかではないなどイメージは人それぞれだと思います。

しかし二軍はどんなリクエストにも応じられる変幻自在な存在でなければなりません。オリックスを例に上げてみると、一軍監督の福良淳一さんが、球団が経営するレストランの店主だとすれば二軍監督は直営農場を管理している責任者です。

各球団の支配下登録選手は70名です。この70名から一軍の28名を引いた人数、最大42名が各球団の「二軍」ということになります。二軍にはどのような選手がいるのでしょうか。若手がメインですが怪我をした選手や中々結果が出ない選手がいます。

しかし結果を出さないとプロ野球選手で居続けることが難しくなります。なぜなら毎年ドラフトで入団したほぼ同数の選手が所属球団から「戦力外」の通告を受けるからです。このように二軍の選手は常に危機感を持ち日々奮闘しています。



文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

自己啓発

その他

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

図書館を使いこなすのは大学生のあたりまえ ウェブサイトを活用して

図書 雑誌

図書・雑誌を探すときには
OPAC (蔵書検索)

御井図書館・医学図書館の図書、雑誌の書誌・
所蔵情報を検索できます。

雑誌 論文

雑誌論文を探すときには
サイニイ アーティクルズ
CiNii Articles

日本の学術論文情報を探すことができます。
一部の論文は本文まで読めます。

新聞 記事

新聞記事を読むときには
新聞記事データベース

朝日新聞、読売新聞、西日本新聞、毎日新聞、
日本経済新聞の新聞記事を検索することができます。

辞書 事典

調べ物のときには
ジャパン ナレッジ
Japan Knowledge Lib

日本国内の約50種類以上の百科事典・辞書
を一括して検索できます。

調査 相談

「何を使って調べたいかわからない」
「探している資料はどこにあるかわからない」
そんなときには
レファレンス (調査相談) サービス

1階レファレンスカウンターもしくは
Web (フォーム) で受付しています。
お気軽にご相談ください。

久留米大学
御井図書館

図書・雑誌を図書館で探す

OPAC (蔵書検索) / マイライブラリ
CiNii Books / Webcat Plus
久留米市立図書館 / 福岡県内図書館検索
NDL ONLINE (国立国会図書館オンライン)

図書をオンライン書店で探す

amazon.co.jp / honto / Books.or.jp
日本の古本屋 / スーパー源氏
BOOK TOWN. じぶろ

雑誌の論文・記事を探す

CiNii Articles / magazine plus
Web OYA-bunko
雑誌記事索引集成(朝前) / J-STAGE
Scopus / ScienceDirect

新聞の記事・写真を見る

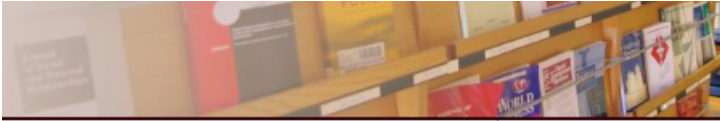
聞蔵IIビジュアル(朝日新聞)
ユニダス歴史館(読売新聞)
読書(毎日新聞)
Jビュース(西日本新聞)
日経テレコン(日本経済新聞)
press reader
神戸大学新聞記事文庫
毎日フォトバンク/よみうり写真館
◆御井図書館で購読中の新聞一覧

その他の学術研究用ツール

国立国会図書館サーチ(NDL Search)
Japan Knowledge Lib
Google Scholar / 新書マップ
TKC法律情報データベース/LEX/DB
第一法規法律情報総合データベースD1-Law.com / 法
律文庫総合INDEX / JURIS Online
メディカルオンライン / 医中誌Web / PubMed
流通情報 / 総合企業情報データベースeol
OECD iLibrary / 国際問題 / 地方自治関係資料
KAKEN: 科学研究費助成金データベース
インターネット「官報」 / 都道府県統計書
白書・年次報告書
e-Stat(政府統計の総合窓口)
◆電子ジャーナル・電子ブック検索
◆文献管理ツール: Mendeley / zotero /

> 久留米大学学位論文一覧
> データベース一覧

図書館の達人になろう



お知らせ

- ▶ 2018/02/01 今月の特集展示「ルリユール・豆本の世界」について
- ▶ 2018/01/23 ScienceDirectトランザクション方式の利用について
- ▶ 2018/01/18 利用者用パソコンのメンテナンスについて
- ▶ 2018/01/11 春季休暇期間中の長期貸出について
- ▶ 2017/12/11 御井図書館ニュース(No.96)を公開しました
- ▶ 2017/03/16 高校生の御井図書館利用について

[>>過去のお知らせ](#)

今月の特集展示 ルリユール・豆本の世界 について

(2018/02/01)

さまざまなテーマを取り上げて、展示しております。

【期間】 2018年2月1日(木) ~ 3月20日(火)

【場所】 1階特集展示コーナー(入館ゲートの正面)

日本の伝統的な和装本や手の平サイズの豆本の作り方、本の歴史やブックデザイン関連の図書を集めました。

一生の宝物になる、オリジナルの一冊を作ってみましょう!

カレンダー

2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

- 8:45~21:00
- 10:00~18:00
- 9:00~17:00
- 休館日

▶ [開館カレンダー 2017年度](#)

▶ [開館カレンダー 2018年度](#)

- 図書館
利用案内
- 御井図書館
ニュース
- 知の玉手箱
- ハーウッド
文庫
- 学内専用
- レファレンス(調査相談)
・お問い合わせはこちら
- 利用者
アンケート
- 久留米大学
学術機関リポジトリ
- 久留米大学
デジタルアーカイブ

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

自己啓発

その他

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

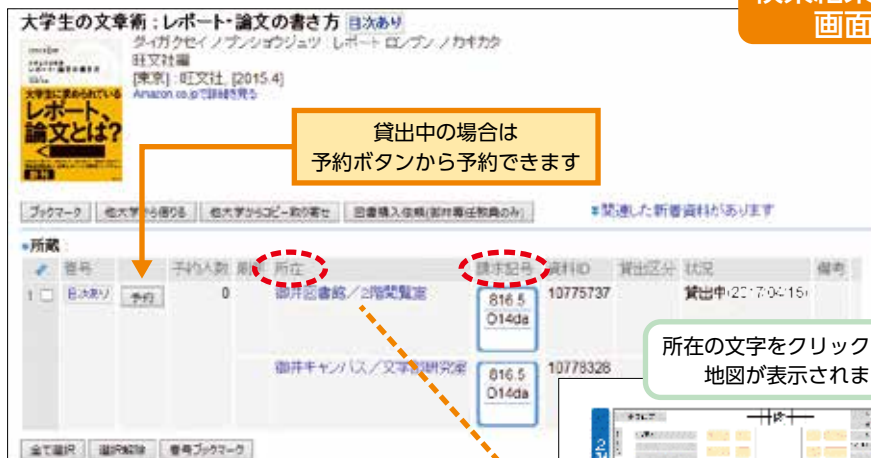
久留米大学の所蔵する資料を探す OPAC（蔵書検索）を使ってみよう！

簡易検索
画面



NACSIS目録にチェックすると
他大学の所蔵を検索できます

検索結果詳細
画面



貸出中の場合は
予約ボタンから予約できます

所在の文字をクリックすると
地図が表示されます

書名、所在、請求記号を
メモをして書架へ行きましょう。
* 状況欄が貸出中の資料は書架にありません。

学生リクエストサービスについて

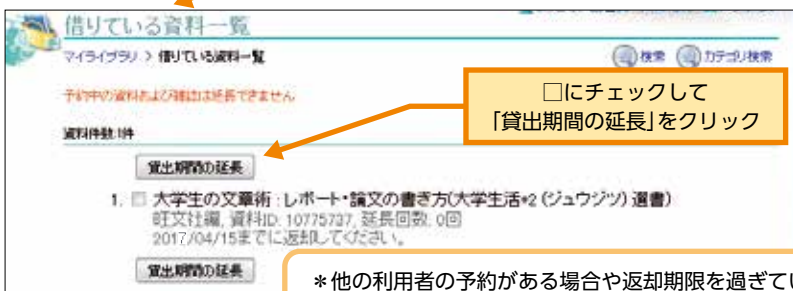
利用したい図書が所蔵されていない場合、また研究室のみ所蔵されている場合などは、学生からの購入希望を受け付けています。貸出・返却カウンターに『図書リクエスト票』がありますので、必要事項を記入し、提出してください。

* 図書が利用可能になりましたら、学内メールで申込者に通知します。

🔍 マイライブラリを活用しよう！

マイライブラリでできること

- 貸出・予約状況照会
- 文献複写等の依頼状況
- 貸出期間の延長
- 貸出履歴の確認



- * 他の利用者の予約がある場合や返却期限を過ぎている場合、貸出期間の延長はできません。
- * 延長処理日から2週間(学部生の場合)の延長となります。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

自己啓発

その他

ウェブサイトを
活用して
図書館の達人になろう

御井図書館の利用について

開館時間

	曜 日	開館時間
授業期間・試験期間	月曜日～金曜日	8:45～21:00
	土曜日・日曜日	10:00～18:00
長期休暇期間	月曜日～金曜日	9:00～17:00
	土曜日・日曜日	10:00～18:00

※長期休暇期間とは、学生の夏季・冬季・春季休暇期間を指します。

※500号館地下書庫は、授業期の平日は18:30、土曜日・日曜日は16:00まで利用可能です。

〈休館日〉 国民の祝日、本学創立記念日、お盆休み、年末年始

※開館時間の変更・臨時休館については、ホームページにてお知らせします。

貸 出

借りたい図書と「学生証」を1階の貸出・返却カウンターへお持ちください。

※延滞資料が1冊でもある場合は、新規の貸出ができません。

	貸出冊数	貸出期間
学部学生	10冊	14日以内
大学院生	20冊	1ヶ月以内

返 却

借った図書は期限内に貸出・返却カウンターへ返却してください。

延滞した場合は、延滞日数によって貸出停止のペナルティが科せられます。

※図書館が閉館しているときは、正面玄関横の「ブックポスト」へ返却してください。

久留米大学御井図書館

知の玉手箱 2018

発行：久留米大学 御井図書館

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635 TEL0942-44-4015

©Mii Library of Kurume University 2018 Printed in Japan